

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 114	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名 漁場利用高度化のための漁場利用論的研究について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 漁業権で保護された磯根資源の漁業においては、大都市立地による一般市民の親水的レジャーによる漁業権侵害の懸念及び海面利用要望等の増大傾向の問題が存在する。 共同漁業権の行使に係る漁場利用の実態及び漁業者意識等の調査を経て、漁場管理、漁業権行使及び漁業権受忍等のいくつかの要素を設定したうえで複数のシナリオを想定したシミュレーションを行ない、漁業生産の維持発展に対する漁場利用形態の寄与・影響等について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	1年以内 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術所 <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
備考 参考事例として漁業権受忍と密漁防止の高次元での解決(京都府等)が挙げられる	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部
対応区分	実施 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 当センターでは、漁業制度に関する調査研究について実施しておらず、ご要望の趣旨にそった調査研究を実施することは現時点では困難です。 しかし、サザエ等の磯根資源を観光漁業で活用していくことは、地域振興につながるものと考えられ、既に一部の漁業協同組合では実施について検討が行われた事例もございます。漁業制度的な問題よりも磯根資源を観光漁業で活用することによってかえって密漁を誘発するのではないかという漁業者の懸念から実施には至っておりません。観光漁場については、地域実情や要望をみながら普及指導業務の中で対応していきたいと考えています。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			